



図書館だより

瀬戸内町立図書館(瀬戸内町古仁屋 1283-17)



あけまして

おめでとうございます。



去年は、コロナウイルス感染拡大防止のため、臨時休館があったりと利用者の皆様には大変ご不便をおかけしました。今年も感染拡大防止対策をしながら皆様のお越しをお待ちしております。

☆図書館ニュース☆

●宅配サービスをはじめました。

期 間	令和2年12月21日～令和3年3月16日まで
対 象 者	図書館の利用カードを持っている町民
貸出冊数	1人4冊以内(本のサイズで冊数に変更あり)
返却場所	町立図書館、海の駅、生間港待合所、瀬相港待合所 きゅら島交流館(新規)

☆今月のイチオシ!☆

『お椀ひとつで一汁一菜』

松本 栄文/著

お椀ひとつにお餅、汁、具がバランスよく入る雑煮は、理想的なパーフェクトフード。春夏秋冬、旬の食材を味わう雑煮を紹介。「そもそも雑煮とは?」がわかるコラムや、だしの取り方なども収録。



☆お知らせ☆

●きゅら島交流館に、返却ポストを設置しました。

きゅら島交流館は午後10時まで開館していますので、返却が便利になると思いますので、ご利用ください。

●蔵書点検が始まります。

2/1(月)～2/12(金)まで蔵書点検のため、休館になります。ご迷惑をおかけいたしますが、ご協力よろしくお願いいたします。

ふむふむ!まめちしき ～「郷土誌 Bar」から～

【ツルヒヨドリ】

南北アメリカの熱帯地域を原産地とする、つる性の植物で、日本では1984年に沖縄県うるま市で発見された外来種です。

『ツルヒヨドリの特徴』

英語での異名は「1分で1マイル広がる雑草」

つるでからみつきながら、猛烈な勢いで広がる。

根っこが残っていると生えてくる。茎が落ちているだけで、そこから根を出して広がる力を持っている。花が咲いて種をつけたら、その種に綿毛がついていて、ふわ～と飛んでもっと広がるので、世界の侵略的外来種ワースト100にもあげられています。

『ツルヒヨドリと言う名前の由来』

「ヒヨドリバナ」という植物があり、ヒヨドリが里に下りて鳴く頃に咲く花で、それがつる状の植物なので「ツルヒヨドリ」と呼ばれるようになった。

※図書館ではブックリサイクル継続中

家づくりや健康に関する雑誌もあります♪